



朋

向人



いやあ...

んっ♡

いい娘 連れてきたねえ

んっ♡

詠ちゃん

ふっふっ

そうですわねえ
予想外でしたわ

「お嬢様」とは
思えない程の
乱れっぷりで

まったく
素晴らしい
働きですわね

さて私は
お先に失礼しますわ

今日の分
頂けますか？

あっ
あっ

はっはっはっ

はっはっはっ





何不自由なく
育った
お金持ち
ですもの

それは
斑鳩ちゃん
の……!!

お嬢様には
必要ない
ものですわ

彼女には
快樂だけで
充分ですわ

あっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

じゃあ
私はこれで

ご機嫌よう

くっ...
出るっ...!

ふうーっ
今日も
ご馳走様♥

...とところで
最近の詠ちゃん
生意気じゃね?

...だな
やることは
やってるが

斑鳩ちゃんと
比べると淡泊に
感じてしまうな

正直こっちに
全部金流したいわ



そう
だな……

……ふむ



誰よ？

あんたら



でよおー

ぎやはは



君達
貧民街の
子かな？

あん？

貧民街



私達は君達に
学資援助して
る者だよ

ふーん

ま学校
行かないから
知らねーよ

んで
何の用?

そう 学資だけが
君達の為になる
訳ではないよな

特に君らのような
やんちゃ者にはさ

ああ?

だから
君達には

この娘で
奉仕しようと
思ってたね

ヤリたい
年頃だろ?

存分に
愉しみなよ

えっ!?
ちよっ!?

なっ...!?







10



もう
はちきれそう
ですわ♡

まあ……!





うおっ
おおっ...

んっ
んんっ

何この姉ちゃん
テクすげえ...!!

頭イカれてっ
けど...!!

か...身体も
エロいし
面も悪くないな



な
な
あ
あ
本当
に
の
か...??

あ
あ
君
ら
の
為
に
用
意
し
た
ん
だ

ほ
ら
ほ
ら
遠
慮
せ
ん
と



ん
ふ♡



12



ふふん…
お気に召したかな？

いやあ
最初引いた
けどさあ！

この
姉ちゃん
パネエっす！

それは
何よりだ
気の済むまで
出しなよ

へへっ…
んじや早速

おらあ！
喰らえやあ！



美味しい
です♡

とても
芳醇で
濃厚で…

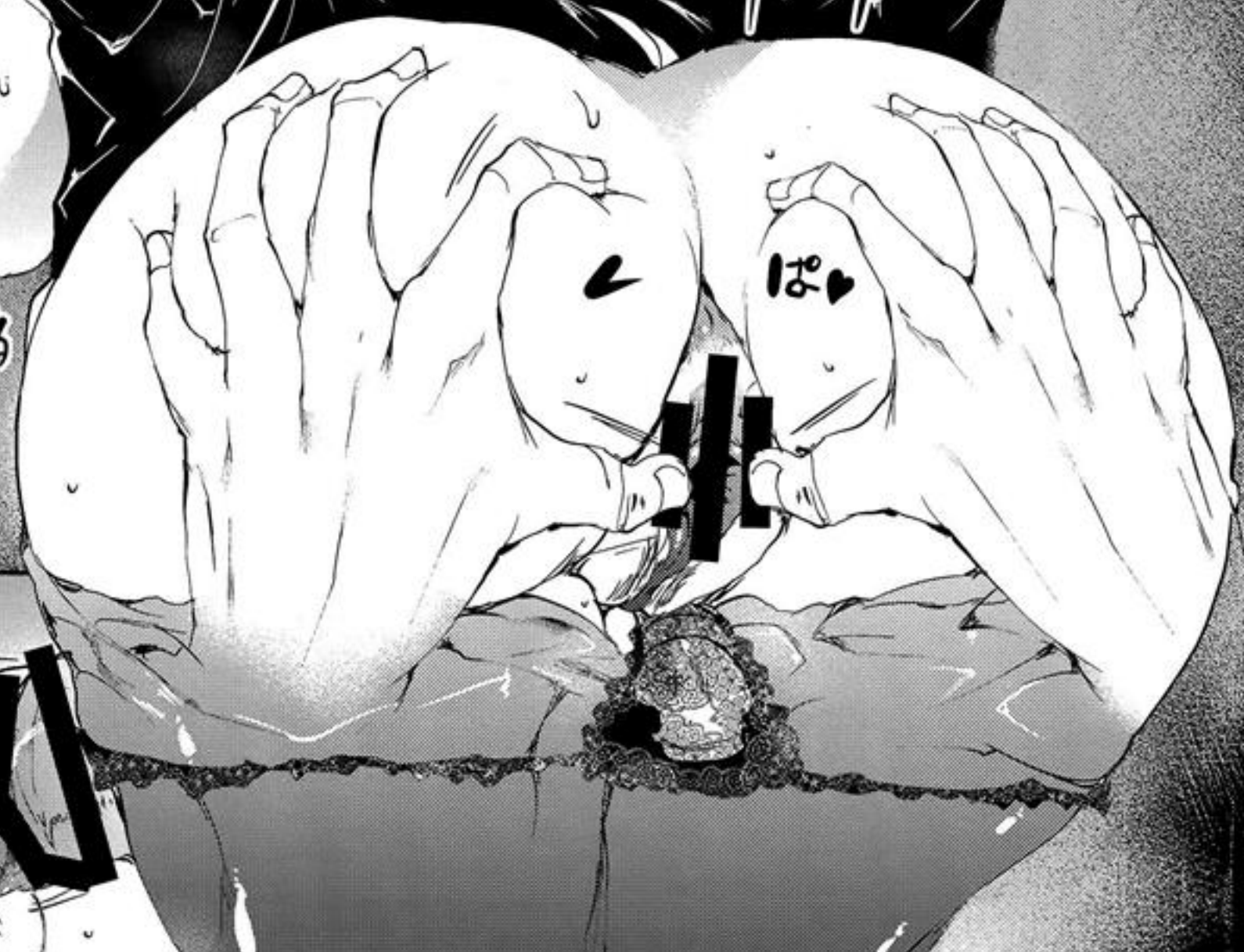
はぁ…♡
いっばい
出しましたね



うおお！
もう我慢
できねえ！

あんっ♡

ちょっと
焦り過ぎ
ですよっ…♡



は♡

いっばい…
入れっぞ！



おいっ!
いいっ!
ぜっ!
あ!

ピストン
する度に汁
垂れてんぜ!

あつ♥
いいですよっ…
もつと動かして…♥



あら

すいません
こっちが
空いてませんが



こっちは
初めて
だけど...

んじゃ...!



よろしければ
如何です?

えっ

ケ...ケツも
いけんのかよ!



おしり
大好きい...♡

あっ♡あっ
やっぱり...♡



はい♡
嫌いでい
なければ♡



がははっ
斑鳩ちゃんも
愉しんだののお!

嫌がるかもと
少し思ってたが



そうですね…
まあたまには♡

若いち○ぽも
勢いがあって
いいですね♡



な…何を
してるんですか!?



ーおや

はっ

はーっ……!

詠ちゃん
じゃないか

こっこの街の人に
手を出さない約束!
じゃないんですの!?

だから
私
ちゃんど……!

うるさいなあ

ちよつとした
余興だよ

彼らも
悦んでる
わけだし

19

俺らも
面白いもの
見れて満足だわ

なっ……!

ーてかさ

「最近の」
詠ちゃんより
よっぽど

斑鳩ちゃんの
方がいいわあ

え……

いや
わかるだろ?

あんなケツ穴
ぱっくり
ぶち込まれて

それを悦んで
腰振りまくって



うおおっ……！
イイキそっ……！

俺も……！

何でも
要求にも
応えるし

いいですよ……♡

あらっ……♡
まあっ……♡



どんだけ
ハメても
疲れを顔に
出さないし

何でも
要求にも
応えるし



詠ちゃん
そこまで
してくれたっけ？

ねえ？



……

いっば...いっば...
私...に...いっば...
♡

出してえ...
♡





まー一晩
じつくり
考えなよ

今日は
この辺で
帰るわ

んじゃ



今後
どうすべき
なのかをさ



貴女……!!
わかってて
やっただんですのね!?

ねえ!?

……なるほど!
そういう
報復ですか!

あの人達に取り
入って!

私の街の
子供達に
手を出して!

私が憤慨する
ことをわかって!





そもそも貴女が
首を突っ込ま……!

……違います

……私は
詠さんへの……

あの方達
からの援助が……
増えればと
思ってます……

……!?



な……
そんな……ワケ

私とて
忍の端くれ

快楽に抗う
ことなど……

でも……
私が抵抗
しないことで
貧民街が

詠さんが
良くなった

だから私は
受け入れました
……快楽を



……なのに
それが貴女を
怒らせている

苦しめている
ことになるなんて

どうすれば
いいのでしょうか……?





「斑鳩さん」

貴女って
人は……



おーる
どうえぼん